

コード番号 ○○○ - ○○ - ○○○○○○ -1

第三十六号の六様式(第六条、第六条の二の二関係)(A4)

定期検査報告書

(建築設備等(昇降機を除く。))  
(第一面)

報告者及び調査者の押印漏れのないようにしてください。

建築基準法第12条第3項の規定により、定期検査の結果を報告します。この報告書に記載の事項は事実と相違ありません。

特定行政庁 様

〇〇市長又は  
兵庫県知事

令和 ○○年 ○○月 ○○日

報告者氏名 ○○○○○○○ 所有者又は管理者 印

(所有者と管理者が異なる場合は管理者)

検査者氏名 ○○○○○○ 印

【1.所有者】

フリガナも記入してください。

調査者が2人以上のときは、代表となる調査者を記入してください。

【イ. 氏名のフリガナ】 ○○○ ○○○○

【ロ. 氏名】 ○○ ○○

法人にあっては、代表者名も記入してください。

【ハ. 郵便番号】 ○○○-○○○○

【ニ. 住所】 ○○○○○○○○○○○○○

区分所有の場合、「(代表者の氏名)他○名」という形で記入してください。

【ホ. 電話番号】 ○○○-○○○-○○○

【2.管理者】

所有者と管理者が異なる場合は、「**管理者**」を記入してください。

【イ. 氏名のフリガナ】 ○○○ ○○○○

【ロ. 氏名】 ○○ ○○

【ハ. 郵便番号】 ○○○-○○○○

【ニ. 住所】 ○○○○○○○○○○○○○

【ホ. 電話番号】 ○○○-○○○-○○○○

※「**管理者**」とは、当該建築物の維持管理、長期修繕計画等に対して、金銭面を含め、主体的に関与された方のことです。

【3.報告対象建築物】 (郵便番号 ○○○-○○○○ )

【イ. 所在地】 ○○○○○○○○○○○○○

【ロ. 名称のフリガナ】 ○○○○○○○○

【ハ. 名称】 ○○○○

【ニ. 用途】 ○○○○

「要是正」の指摘がある場合、「要是正の指摘あり」に「✓」マークを記入してください。  
また、指摘事項の全てが既存不適格の場合のみ、「既存不適格」にも「✓」マークを記入してください。

【4.検査による指摘の概要】

【イ. 指摘の内容】  要是正の指摘あり (  既存不適格 )  指摘なし

【ロ. 指摘の概要】 換気・排煙風量不足、非常用照明照度不足、防火ダンパー点検口付近に障害あり

【ハ. 改善予定の有無】  有 (令和 ○○年 ○○月に改善予定)  無

【ニ. その他特記事項】

指摘がある場合、主な指摘事項を記入してください。(ただし、既存不適格の指摘事項を除く。)

※受付欄	※特記欄	※整理番号欄(防災センター)
令和 年 月 日	改善予定年月のうち最も早いものを記入してください。	
第 号	換気設備又は排煙設備について、複数年での検査を計画するのであれば、検査計画書(No.18様式)を添付のうえ、その旨明記してください。(ただし、複数年での検査が出来る項目は限定されています。)	
係員印		

(第二面)

建築設備の状況等

【1. 建築物の概要】

【イ. 階数】 地上 5 階 地下 0 階

【ロ. 建築面積】 1,220.50 m<sup>2</sup>

【ハ. 延べ面積】 5,661.50 m<sup>2</sup>

【ニ. 検査対象建築設備】  換気設備  排煙設備  非常用の照明装置

給水設備及び排水設備

小数点以下第2位まで記入してください。

兵庫県内では給排水設備は対象外です。

【2. 確認済証交付年月日等】

【イ. 確認済証交付年月日】 昭和 51 年 6 月 6 日 第 〇〇〇〇 号

【ロ. 確認済証交付者】  建築主事  指定確認検査機関 ( )

【ハ. 検査済証交付年月日】 昭和 52 年 10 月 10 日 第 〇〇〇〇 号

【ニ. 検査済証交付者】  建築主事  指定確認検査機関 ( )

【3. 検査日等】

【イ. 今回の検査】 令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日 実施

【ロ. 前回の検査】  実施 (平成 30 年 7 月 20 日 報告)  未実施

【ハ. 前回の検査に関する書類の写し】  有  無

【4. 換気設備の検査者】

(代表となる検査者)

【イ. 資格】

( 一級 ) 建築士 ( 大臣 ) 登録第 〇〇〇〇〇 号  
建築設備検査員 第 〇〇〇〇〇 号

【ロ. 氏名のフリガナ】 〇〇〇 〇〇〇〇

【ハ. 氏名】 〇〇 〇〇

【ニ. 勤務先】 〇〇〇〇〇〇 建築設計事務所 ( 一級 ) 建築士事務所 ( 兵庫県 ) 知事登録第 〇〇〇〇〇 号

【ホ. 郵便番号】 〇〇〇-〇〇〇〇

【ヘ. 所在地】 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

【ト. 電話番号】 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

(その他の検査者)

【イ. 資格】

( ) 建築士 ( ) 登録第 〇〇〇〇〇 号  
建築設備検査員 第 〇〇〇〇〇 号

【ロ. 氏名のフリガナ】 〇〇〇 〇〇〇〇

【ハ. 氏名】 〇〇 〇〇

【ニ. 勤務先】 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 ( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 〇〇〇〇〇 号

【ホ. 郵便番号】 〇〇〇-〇〇〇〇

【ヘ. 所在地】 〇

【ト. 電話番号】 〇

「居室等」は、「劇場、映画館、演芸場、観覧場、公会堂及び集会場等の用に供する建築物の居室」と「廊下及び階段の用に供する部分」をいいます。

【5. 換気設備の概要】

【イ. 無窓居室】  自然換気設備 ( 系統 室 )  機械換気設備 ( 〇 系統 〇 室 )

中央管理方式の空気調和設備 ( 系統 室 )

その他 ( 系統 室 )  無

【ロ. 火気使用室】  自然換気設備 ( 系統 室 )  機械換気設備 ( 〇 系統 〇 室 )

その他 ( 系統 室 )  無

【ハ. 居室等】  自然換気設備 ( 系統 室 )  機械換気設備 ( 〇 系統 〇 室 )

中央管理方式の空気調和設備 ( 系統 室 )

その他 ( 系統 室 )  無

【ニ. 防火ダンパーの有無】  有  無

【6. 換気設備の検査の状況】

【イ. 指摘の内容】  要是正の指摘あり (  既存不適格 )  指摘なし

【ロ. 指摘の概要】 3階給湯室・5階事務室の換気量不足、防火ダンパー点検口付近に障害物あり

【ハ. 改善予定の有無】  有 (令和 〇〇 年 〇〇 月に改善予定)  無

【7. 換気設備の不具合の発生状況】

【イ. 不具合】  有  無

【ロ. 不具合の記録】  有  無

【ハ. 改善の状況】  実施済  改善予定 ( 令和 年 月に改善予定 )

予定なし

【8. 排煙設備の検査者】

(代表となる検査者)

【イ. 資格】

( 一級 ) 建築士 ( 大臣 ) 登録第 〇〇〇〇〇 号  
 建築設備検査員

【ロ. 氏名のフリガナ】 〇〇〇 〇〇〇〇

【ハ. 氏名】 〇〇 〇〇

【ニ. 勤務先】 〇〇〇〇〇〇建築設計事務所 ( 一級 ) 建築士事務所 ( 兵庫県 ) 知事登録第 〇〇〇〇〇 号

【ホ. 郵便番号】 〇〇〇-〇〇〇〇

【ヘ. 所在地】 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

【ト. 電話番号】 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

(その他の検査者)

【イ. 資格】

( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
 建築設備検査員

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】 ( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

【9. 排煙設備の概要】

【イ. 避難安全検証法等の適用】  区画避難安全検証法 (階)  階避難安全検証法 (階)  全館避難安全検証法  
 その他 ( )

【ロ. 特別避難階段の階段室又は付室】  吸引式 ( 区画)  給気式 ( 区画)  
 加圧式 ( 区画)  無

【ハ. 非常用エレベーターの昇降路又は乗降ロビー】  
 吸引式 ( 区画)  給気式 ( 区画)  
 加圧式 ( 区画)  無

【ニ. 非常用エレベーターの乗降ロビーの用に供する付室】  
 吸引式 ( 区画)  給気式 ( 区画)  
 加圧式 ( 区画)  無

【ホ. 居室等】  吸引式 ( 〇 区画)  給気式 ( 区画)  無

【ヘ. 予備電源】  蓄電池  自家発電装置  直結エンジン  無

【10. 排煙設備の検査の状況】

【イ. 指摘の内容】  要是正の指摘あり (  既存不適格)  指摘なし

【ロ. 指摘の概要】 1階C室排煙風量不足

【ハ. 改善予定の有無】  有 (令和 〇〇 年 〇〇 月に改善予定)  無

【11. 排煙設備の不具合の発生状況】

【イ. 不具合】  有  無

【ロ. 不具合の記録】  有  無

【ハ. 改善の状況】  実施済  改善予定(令和 年 月に改善予定)  予定なし

【12. 非常用の照明装置の検査者】

(代表となる検査者)

【イ. 資格】

( 一級 ) 建築士 ( 大臣 ) 登録第 〇〇〇〇〇 号  
 建築設備検査員

【ロ. 氏名のフリガナ】 〇〇〇 〇〇〇〇

【ハ. 氏名】 〇〇 〇〇

【ニ. 勤務先】 〇〇〇〇〇〇建築設計事務所 ( 一級 ) 建築士事務所 ( 兵庫県 ) 知事登録第 〇〇〇〇〇 号

【ホ. 郵便番号】 〇〇〇-〇〇〇〇

【ヘ. 所在地】 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

【ト. 電話番号】 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

(その他の検査者)

【イ. 資格】

( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
 建築設備検査員

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】 ( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

【13. 非常用の照明装置の概要】

- 【イ. 照明器具】  白熱灯 (  灯 )  蛍光灯 (  灯 )  その他 (  灯 )
- LEDランプ (  灯 )  その他 (  灯 )
- 【ロ. 予備電源】  蓄電池(内蔵形) (居室  灯、廊下  灯、階段  灯)
- 蓄電池(別置形) (居室  灯、廊下  灯、階段  灯)
- 自家用発電装置 (居室  灯、廊下  灯、階段  灯)
- 蓄電池(別置形)・自家用発電装置併用 (居室  灯、廊下  灯、階段  灯)
- 無

【14. 非常用の照明装置の検査の状況】

- 【イ. 指摘の内容】  要是正の指摘あり (  既存不適格 )  指摘なし
- 【ロ. 指摘の概要】 1階飲食店照度不足
- 【ハ. 改善予定の有無】  有 (令和  年  月に改善予定)  無

【15. 非常用の照明装置の不具合の発生状況】

- 【イ. 不具合】  有  無
- 【ロ. 不具合の記録】  有  無
- 【ハ. 改善の状況】  実施済  改善予定(令和  年  月に改善予定)

非常用の照明装置は、兵庫県内では予備電源として  
①蓄電池(別置形)  
②自家用発電装置によるものを  
設けたものが報告対象です。

【16. 給水設備及び排水設備の検査者】

- (代表となる検査者)
- 【イ. 資格】 (  ) 建築士 (  ) 登録第  号  
建築設備検査員
  - 【ロ. 氏名のフリガナ】
  - 【ハ. 氏名】
  - 【ニ. 勤務先】 (  ) 建築士事務所 (  ) 知事登録第  号
  - 【ホ. 郵便番号】
  - 【ヘ. 所在地】
  - 【ト. 電話番号】
- (その他の検査者)
- 【イ. 資格】 (  ) 建築士 (  ) 登録第  号  
建築設備検査員
  - 【ロ. 氏名のフリガナ】
  - 【ハ. 氏名】
  - 【ニ. 勤務先】 (  ) 建築士事務所 (  ) 知事登録第  号
  - 【ホ. 郵便番号】
  - 【ヘ. 所在地】
  - 【ト. 電話番号】

兵庫県内では給排水設備は対象外です。

【17. 給水設備及び排水設備の概要】

- 【イ. 飲料水の配管設備】  給水タンク(  基  m<sup>3</sup> )  貯水タンク(  基  m<sup>3</sup> )
- その他(  )
- 【ロ. 排水設備】  排水槽(  汚水槽  雑排水槽  合併槽  雨水槽・湧水槽)
- 排水再利用配管設備  その他(  )
- 【ハ. 圧力タンクの有無】  有  無
- 【ニ. 給湯方式】  局所式  中央式
- 【ホ. 湯沸器】  開放式燃焼器  半密閉式燃焼器  密閉式燃焼器
- その他(  )

【18. 給水設備及び排水設備の検査の状況】

- 【イ. 指摘の内容】  要是正の指摘あり (  既存不適格 )  指摘なし
- 【ロ. 指摘の概要】
- 【ハ. 改善予定の有無】  有 (令和  年  月に改善予定)  無

【19. 給水設備及び排水設備の不具合の発生状況】

- 【イ. 不具合】  有  無
- 【ロ. 不具合の記録】  有  無
- 【ハ. 改善の状況】  実施済  改善予定(令和  年  月に改善予定)  予定なし

【20. 備考】

(第三面)

建築設備に係る不具合の状況

不具合がない場合、  
この様式は報告書に添付不要です。

【1. 換気設備】

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等

今回の検査の指摘事項や既存不適格の内容を記入するところではありません。

前回検査時以降に把握した建築設備に係る不具合等のうち第二面の6欄（換気設備の検査の状況）において指摘されるもの以外のものについて、記入してください。

第二面の7欄（換気設備の不具合の発生状況）で、「有」にチェックがあった場合のみ、その内容について記入してください。

【2. 排煙設備】

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等

今回の検査の指摘事項や既存不適格の内容を記入するところではありません。

前回検査時以降に把握した建築設備に係る不具合等のうち第二面の10欄（排煙設備の検査の状況）において指摘されるもの以外のものについて、記入してください。

第二面の11欄（排煙設備の不具合の発生状況）で、「有」にチェックがあった場合のみ、その内容について記入してください。

【3. 非常用の照明装置】

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等

今回の検査の指摘事項や既存不適格の内容を記入するところではありません。

前回検査時以降に把握した建築設備に係る不具合等のうち第二面の14欄（非常用の照明装置の検査の状況）において指摘されるもの以外のものについて、記入してください。

第二面の15欄（非常用の照明装置の不具合の発生状況）で、「有」にチェックがあった場合のみ、その内容について記入してください。

【4. 給水設備】

不具合を把握した年月	不具合の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等

検査結果表  
(換気設備)

No.6~No.9の検査結果表は、報告対象設備のみ添付してください。  
該当しない設備の結果表は、省略して構いません。

当該検査に関与した検査者	代表となる検査者	氏名	検査者番号
	その他の検査者		

番号	検査項目等 (太字の検査項目は、建築基準法施行規則第6条第1項規定に基づき国土交通大臣が定める検査の項目を表す。)	検査結果		担当検査者番号
		指摘なし	要是正	

<b>1 法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室（換気設備を設けるべき調理室等を除く。）</b>					
(1)	機械換気設備 機械換気設備（中央管理方式の空気調和設備を含む。）の外観	給気機の外気取り入れ口並びに直接外気に開放された給気口及び排気口への雨水等の防止措置の状況	○		A1・A2
(2)		給気機の外気取り入れ口及び排気機の排気口の取付けの状況	○		A1・A2
(3)		各居室の給気口及び排気口の設置位置	○		A1・A2
(4)		各居室の給気口及び排気口の取付けの状況	○		A1・A2
(5)		風道の取付けの状況	○		A1・A2
(6)		風道の材質	○		A1・A2
(7)		給気機又は排気機の設置状況	○		A1・A2
(8)		換気扇による換気状況	○		A1・A2
(9)	換気状況評価表 (別表1:No.10様式)を添付	機械換気設備（中央管理方式の空気調和設備を含む。）の性能		○	A2
(10)		各居室の換気量			A2
(11)		中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	○		A2
(12)	中央管理方式の空気調和設備	空気調和設備の設置の状況	-		
(13)		空気調和設備及び配管の劣化及び損傷の状況	-		
(14)		空気調和設備の運転の状況	-		
(15)		空気ろ過器の点検口	-		
(16)		冷却塔と建築物の他の部分との離隔距離	-		
(17)		各居室の温度	-		
(18)		各居室の相対湿度	-		
(19)		各居室の浮遊粉じん量	-		
(20)		各居室の一酸化炭素含有率	-		
(21)		各居室の二酸化炭素含有率	-		
(22)		各居室の気流	-		

該当する項目について、別表を添付してください。

調査者が1人の場合、記入は不要です。

調査者が2人以上の場合、必ず、代表となる調査者を該当する欄に記入してください。

該当する項目について、別表を添付してください。

該当しない項目は、「指摘なし」欄に「-」を記入してください。

<b>2 換気設備を設けるべき調理室等</b>					
(1)	自然換気設備及び機械換気設備	排気筒、排気フード及び煙突の材質	○		A1・A2
(2)		排気筒、排気フード及び煙突の取付けの状況	○		A1・A2
(3)		給気口、給気筒、排気口、排気筒、排気フード及び煙突の大きさ	○		A1・A2
(4)		給気口、排気口及び排気フードの位置	○		A1・A2
(5)		給気口、排気筒、排気フード及び煙突の設置の状況	○		A1・A2
(6)		給気筒、排気筒の設置の状況	○		A1・A2
(7)		給気筒、排気筒等の離隔距離	○		A1・A2
(8)		給気筒、排気筒、風道等の設置の状況	○		A1・A2
(9)	自然換気設備	煙突の先端の立ち上がりの状況（密閉型燃焼器具の煙突を除く。）	○		A1・A2
(10)	機械換気設備	煙突に連結した排気筒及び半密閉式瞬間湯沸器等の設置の状況	○		A1・A2
(11)	換気風量測定表 (別表2:No.11様式)を添付	換気扇による換気状況	○		A1・A2
(12)		給気機又は排気機の設置の状況	○		A1・A2
(13)		機械換気設備の換気量	○		A1・A2
<b>3 法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室等</b>					
(1)	防火ダンパー等	防火ダンパーの設置の状況	○		A1・A2
(2)	(外壁の開口部で延焼のおそれのある部分に設けるものを除く。)	防火ダンパーの取付けの状況	○		A1・A2
(3)		防火ダンパーの作動の状況	○		A1・A2
(4)		防火ダンパーの劣化及び損傷の状況	○		A1・A2
(5)		防火ダンパーの点検口の有無及び大きさに並びに検査口の有無	○		A1・A2
(6)		防火ダンパーの温度ヒューズ	○		A1・A2
(7)		防火区画の貫通措置の状況	○		A1・A2
(8)		連動型防火ダンパーの煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器の位置	○		A1・A2
(9)		連動型防火ダンパーの煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器との連動の状況	○		A1・A2

<b>4 上記以外の検査項目等</b>					

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善(予定)年月
1(9)	機械換気設備の各居室の換気量	5階事務室の換気量不足	換気設備を整備し、改善しないときは交換する。	R○○○
2(13)	機械換気設備の換気量	3階給湯室の換気量不足	換気設備を整備し、改善しないときは交換する。	R○○○
3(5)	防火ダンパーの点検口の有無及び大きさに並びに検査口の有無	点検口の付近に障害物あり	障害物を撤去する。	R○○○
<p>要是正の指摘などがあつた場合、特記事項欄に記入してください。 併せて、要是正とされた部分の写真を別添様式 (No.17) に従い添付してください。</p>				



検査結果表  
(排煙設備)

当該検査に関与した検査者	代表となる検査者	氏名	検査者番号
	その他の検査者		

番号	検査項目等 (太字の検査項目は、建築基準法施行規則第6条第1項の規定に基づき国土交通大臣が定める検査の項目を表す。)		検査結果			担当検査者番号
			指摘なし	要是正	既存不適格	
1	令第123条第3項第2号に規定する階段室又は付室、令第129条の13の3第13項に規定する昇降路又は乗降ロビー、令第126条の2第1項に規定する居室等					
(1)	排煙機	排煙機の外観	排煙機の設置の状況	○		
(2)			排煙風道との接続の状況	○		
(3)			排煙出口の設置の状況	○		
(4)			排煙出口の周囲の状況	○		
(5)			屋外に設置された排煙出口への雨水等の防止措置の状況	○		
(6)	排煙風量測定記録表(別表3:No.12様式)を添付	排煙機の性能	排煙機の性能	○		
(7)			排煙機の性能	○		
(8)			電源を必要とする排煙機の予備電源による作動の状況	○		
(9)			排煙機の排煙風量	○		
(10)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	○		
(11)	排煙口	機械排煙設備の排煙口の外観	排煙口の位置	○		
(12)			排煙口の周囲の状況	○		
(13)			排煙口の取付けの状況	○		
(14)			手動開放装置の周囲の状況	○		
(15)			手動開放装置の操作方法の表示の状況	○		
(16)	排煙風量測定記録表(別表3:No.12様式)を添付	機械排煙設備の排煙口の性能	手動開放装置による開放の状況	○		
(17)			排煙口の開放の状況	○		
(18)			排煙口の排煙風量	○	○	
(19)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	○		
(20)			煙感知器による作動の状況	○		
(21)	排煙風道	機械排煙設備の排煙風道(隠蔽部分及び埋設部分を除く。)	排煙風道の劣化及び損傷の状況	○		
(22)			排煙風道の取付けの状況	○		
(23)			排煙風道の材質	○		
(24)			防煙壁の貫通措置の状況	○		
(25)			排煙風道と可燃物、電線等との離隔距離及び断熱の状況	○		
(26)		防火ダンパー(外壁の開口部で延焼のおそれのある部分に設けるものを除く。)	防火ダンパーの取付けの状況	○		
(27)			防火ダンパーの作動の状況	○		
(28)			防火ダンパーの劣化及び損傷の状況	○		
(29)			防火ダンパーの点検口の有無及び大きさ並びに検査口の有無	○		
(30)			防火ダンパーの温度ヒューズ	○		
(31)			防火区画の貫通措置の状況	○		
(32)	特殊な排煙設備	特殊な構造の排煙設備の排煙口の外観	排煙口及び給気口の大きさ及び位置	-		
(33)			排煙口及び給気口の周囲の状況	-		
(34)			排煙口及び給気口の取付けの状況	-		
(35)			手動開放装置の周囲の状況	-		
(36)			手動開放装置の操作方法の表示の状況	-		
(37)	排煙風量測定記録表(別表3-2:No.13様式)を添付	特殊な構造の排煙設備の排煙口の性能	排煙口の排煙風量	-		
(38)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	-		
(39)			煙感知器による作動の状況	-		
(40)		特殊な構造の排煙設備の給気風道(隠蔽部分及び埋設部分を除く。)	給気風道の劣化及び損傷の状況	-		
(41)			給気風道の材質	-		
(42)			給気風道の取付けの状況	-		
(43)			防煙壁の貫通措置の状況	-		
(44)		特殊な構造の排煙設備の給気送風機の外観	給気送風機の設置の状況	-		
(45)			給気風道との接続の状況	-		
(46)	排煙風量測定記録表(別表3-2:No.13様式)を添付	特殊な構造の排煙設備の給気送風機の性能	排煙口の開放と運動起動の状況	-		
(47)			作動の状況	-		
(48)			電源を必要とする給気送風機の予備電源による作動の状況	-		
(49)			給気送風機の給気風量	-		
(50)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	-		
(51)		特殊な構造の排煙設備の給気送風機の吸込口	吸込口の設置位置	-		
(52)			吸込口の周囲の状況	-		
(53)			屋外に設置された吸込口への雨水等の防止措置の状況	-		
2	令第123条第3項第2号に規定する階段室又は付室、令第129条の13の3第13項に規定する昇降路又は乗降ロビー					
(1)	特別避難階段の階段室又は付室及び非常用エレベーターの昇降路又は乗降ロビーに設ける排煙口及び給気口		排煙機、排煙口及び給気口の作動の状況	-		
(2)			給気口の周囲の状況	-		
(3)	加圧防排煙設備	排煙風道(隠蔽部分及び埋設部分を除く。)	排煙風道の劣化及び損傷の状況	-		
(4)			排煙風道の取付けの状況	-		
(5)			排煙風道の材質	-		
(6)		給気口の外観	給気口の周囲の状況	-		
(7)			給気口の取付けの状況	-		
(8)			給気口の手動開放装置の周囲の状況	-		
(9)			給気口の手動開放装置の操作方法の表示の状況	-		

該当する項目について、別表を添付してください。

該当する項目について、別表を添付してください。

該当しない項目は、「指摘なし」欄に「-」を記入してください。

番号	検査項目等	検査結果			担当 検査者 番号
		指摘 なし	要是正		
			既 存	不 適格	
<b>2</b>	<b>令第123条第3項第2号に規定する階段室又は付室、令第129条の13の3第13項に規定する昇降路又は乗降ロビー</b>				
(10)	加圧防排煙設備 給気口の性能	給気口の自動開放装置による開放の状況	-		
(11)		給気口の開放の状況	-		
(12)		給気風道の劣化及び損傷の状況	-		
(13)		給気風道の取付けの状況	-		
(14)		給気風道の材質	-		
(15)		給気送風機の設置の状況	-		
(16)		給気風道との接続の状況	-		
(17)	排煙風量測定記録表(別表3-3:No.14様式)を添付	給気送風機の性能	給気口の開放と連動起動の状況	-	
(18)			給気送風機の作動の状況	-	
(19)			電源を必要とする給気送風機の予備電源による作動の状況	-	
(20)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	-	
(21)		給気送風機の吸込口	吸込口の設置位置	-	
(22)			吸込口の周囲の状況	-	
(23)			屋外に設置された吸込口への雨水等の防止措置の状況	-	
(24)	排煙風量測定記録表(別表3-3:No.14様式)を添付	遮煙開口部の性能	遮煙開口部の排出風速	-	
(25)		空気逃し口の外観	空気逃し口の大きさ及び位置	-	
(26)			空気逃し口の周囲の状況	-	
(27)			空気逃し口の取付けの状況	-	
(28)		空気逃し口の性能	空気逃し口の作動の状況	-	
(29)		圧力調整装置の外観	圧力調整装置の大きさ及び位置	-	
(30)			圧力調整装置の周囲の状況	-	
(31)			圧力調整装置の取付けの状況	-	
(32)		圧力調整装置の性能	圧力調整装置の作動の状況	-	
<b>3</b>	<b>令第126条の2第1項に規定する居室等</b>				
(1)	可動防煙壁	手動降下装置の作動の状況	○		
(2)		手動降下装置による連動の状況	○		
(3)		煙感知器による連動の状況	○		
(4)		可動防煙壁の材質	○		
(5)		可動防煙壁の防煙区画	○		
(6)		中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	○		
<b>4</b>	<b>予備電源</b>				
(1)	自家用発電装置	自家用発電装置等の状況	自家用発電機室の防火区画等の貫通措置の状況	○	
(2)			発電機の発電容量	○	
(3)			発電機及び原動機の状況	○	
(4)			燃料油、潤滑油及び冷却水の状況	○	
(5)			始動用の空気槽の圧力	-	
(6)			セル始動用蓄電池及び電気ケーブルの接続の状況	○	
(7)			燃料及び冷却水の漏洩の状況	○	
(8)			計器類及びランプ類の指示及び点灯の状況	○	
(9)			自家用発電装置の取付けの状況	○	
(10)			自家用発電機室の給排気の状況 (屋内に設置されている場合に限る。)	○	
(11)			接地線の接続の状況	○	
(12)			絶縁抵抗	○	
(13)		自家用発電装置の性能	電源の切替えの状況	○	
(14)			始動の状況	○	
(15)			運転の状況	○	
(16)			排気の状況	○	
(17)			コンプレッサー、燃料ポンプ、冷却水ポンプ等の補機類の作動の状況	○	
(18)	直結エンジン	直結エンジンの外観	直結エンジンの設置の状況	-	
(19)			燃料油、潤滑油及び冷却水の状況	-	
(20)			セル始動用蓄電池及び電気ケーブルの接続の状況	-	
(21)			計器類及びランプ類の指示及び点灯の状況	-	
(22)			給気部及び排気管の取付けの状況	-	
(23)			Vベルト	-	
(24)			接地線の接続の状況	-	
(25)			絶縁抵抗	-	
(26)		直結エンジンの性能	始動及び停止並びに運転の状況	-	
<b>5</b>	<b>上記以外の検査項目等</b>				
<b>特記事項</b>					
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善(予定)年月	
1(18)	機械排煙設備の排煙口の排煙風量	排煙口ゴミ付着	清掃処理	R○○○	
要是正の指摘などがあった場合、特記事項欄に記入してください。 併せて、要是正とされた部分の写真を別添様式(No.17)に従い添付してください。					



検査結果表  
(非常用の照明装置)

当該検査に関与した検査者	氏名	検査者番号
	代表となる検査者	〇〇 〇〇
	その他の検査者	

番号	検査項目等	検査結果			担当検査者番号
		指摘なし	要是正	既存不適格	
<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block;">                     該当する項目について、別表を添付してください。                 </div>					
<b>1 照明器具</b>					
(1)	非常用の照明器具	使用電球、ランプ等	〇		
(2)	照明器具	照明器具の取付けの状況	〇		
<b>2 電池内蔵形の蓄電池、電源別置形の蓄電池及び自家発電装置</b>					
(1)	予備電源	予備電源への切替え及び器具の点灯の状況並びに予備電源の性能	〇		
(2)	照度=照度測定表(別表4:No.15様式)を添付	照度の状況		〇	
(3)	分電盤	非常用電源分岐回路の表示の状況	〇		
(4)	配線	配電管等の防火区画の貫通措置の状況(隠蔽部分及び埋設部分を除く。)	〇		
<b>3 電源別置形の蓄電池及び自家発電装置</b>					
(1)	配線	照明器具の取付状況及び配線の接続の状況(隠蔽部分及び埋設部分を除く。)	〇		
(2)		電気回路の接続の状況	〇		
(3)		接続部(幹線分岐及びボックス内に限る。)の耐熱処理の状況	〇		
(4)		予備電源から非常用の照明器具間の配線の耐熱処理の状況(隠蔽部分及び埋設部分を除く。)	〇		
(5)	切替回路	常用の電源から蓄電池設備への切替えの状況	〇		
(6)		蓄電池設備と自家発電装置併用の場合の切替えの状況	〇		
<b>4 電池内蔵形の蓄電池</b>					
(1)	配線及び充電ランプ	充電ランプの点灯の状況	〇		
(2)	充電ランプ	誘導灯及び非常用照明兼用器具の専用回路の確保の状況	〇		
<b>5 電源別置形の蓄電池</b>					
(1)	蓄電池	蓄電池等の状況	〇		
(2)		蓄電池室の防火区画等の貫通措置の状況	〇		
(3)		蓄電池室の換気の状況	〇		
(4)		蓄電池の設置の状況	〇		
(5)	蓄電池の性能	電圧	〇		
(6)		電解液比重	〇		
(7)		電解液の温度	〇		
(8)	充電器	充電器室の防火区画等の貫通措置の状況	〇		
		キュービクルの取付けの状況	〇		
<b>6 自家発電装置</b>					
(1)	自家発電装置	自家発電装置等の状況	〇		
(2)		自家発電機室の防火区画等の貫通措置の状況	〇		
(3)		発電機の発電容量	〇		
(4)		発電機及び原動機の状況	〇		
(5)		燃料油、潤滑油及び冷却水の状況	〇		
(6)		始動用の空気槽の圧力	-		
(7)		セル始動用蓄電池及び電気ケーブルの接続の状況	〇		
(8)		燃料及び冷却水の漏洩の状況	〇		
(9)		計器類及びランプ類の指示及び点灯の状況	〇		
(10)		自家発電装置の取付けの状況	〇		
(11)		自家発電機室の給排気の状況(屋内に設置されている場合に限る。)	〇		
(12)		接地線の接続の状況	〇		
(13)		絶縁抵抗	〇		
(14)	自家発電装置の性能	電源の切替えの状況	〇		
(15)		始動の状況	〇		
(16)		運転の状況	〇		
(17)		排気の状況	〇		
		コンプレッサー、燃料ポンプ、冷却水ポンプ等の補機類の作動の状況	〇		
<b>7 上記以外の検査項目等</b>					

該当しない項目は、「指摘なし」欄に「-」を記入してください。

特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善(予定)年月
2(2)	非常用の照明器具の照度の状況	照度の不足	非常用照明器具の交換	R〇〇.〇
<div style="border: 1px solid red; padding: 10px; display: inline-block;">                         要是正の指摘などがあつた場合、特記事項欄に記入してください。併せて、要是正とされた部分の写真を別添様式 (No.17) に従い添付してください。                     </div>				

別表1 法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室（換気設備を設けるべき調理室等を除く。）の換気状況評価表（A4）

No.10

測定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	測定機器 メーカー名	〇〇〇〇株式会社		型式番号等	〇〇〇-〇〇〇〇
階	室名	必要換気量 (m <sup>3</sup> /h)	換気方式	換気設備機種名 <sup>*注1</sup>	換気状況の評価 <sup>*注2</sup>	判定
1	集会室1	360	一種・二種・三種	外気処理ユニット	400m <sup>3</sup> /h	指摘なし・要是正
1	事務室	240	一種・二種・三種	天井換気扇	300m <sup>3</sup> /h	指摘なし・要是正
2	集会室2	534	一種・二種・三種	} 排気ファン	1,200m <sup>3</sup> /h	指摘なし・要是正
2	集会室3	534	一種・二種・三種			<del>指摘なし・要是正</del>
3	事務室	480	一種・二種・三種	外気処理ユニット	600m <sup>3</sup> /h	指摘なし・要是正
4	事務室	480	一種・二種・三種	外気処理ユニット	550m <sup>3</sup> /h	指摘なし・要是正
5	事務室	300	一種・二種・三種	天井換気扇	270m <sup>3</sup> /h	指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正

注1) 室ごとに単独の換気扇がある場合など、換気設備が特定されている場合は、その名称を記入する。  
 注2) 「換気状況の評価」欄には、外気取り入れ口における風量測定を行うことが最も確実であり、換気量測定を行った場合は、その測定結果を記入する。  
 これに代わる方法として、各室の二酸化炭素濃度の測定を行い、居住者数と測定値に矛盾がないか確認する等を行った場合には、その結果を記入する。

別表2 換気設備を設けるべき調理室等の換気風量測定表 (A4)

測定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日		測定機器 メーカー名	〇〇〇〇株式会社		型式番号等	〇〇〇-〇〇〇〇	
室番(場所)	使用器具	発熱量(kW)	換気型式 (n)	必要換気量(m <sup>3</sup> /h)	開口面積(m <sup>2</sup> )	測定風速(m/s) <sup>*注</sup>	測定風量(m <sup>3</sup> /h)	判定
1階給湯室	5号給湯器 ガスコンロ2口	17.2	40・30・20・2	640	0.09	2.2	712.8	指摘なし・要是正
2階給湯室	5号給湯器 ガスコンロ2口	17.2	40・30・20・2	640	0.09	2.5	810.0	指摘なし・要是正
3階給湯室	5号給湯器 ガスコンロ2口	17.2	40・30・20・2	480	0.07	1.8	453.6	指摘なし・要是正
4階給湯室	5号給湯器 ガスコンロ2口	17.2	40・30・20・2	480	0.07	2.2	554.4	指摘なし・要是正
5階給湯室	5号給湯器 ガスコンロ2口	17.2	40・30・20・2	480	0.07	2.5	630.0	指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正

注) 「測定風速」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。

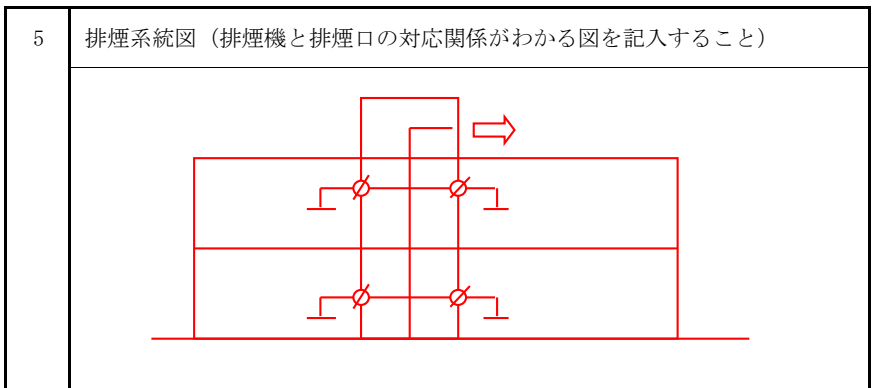
別表3 排煙風量測定記録表 (A4) \*注1

測定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	測定機器 メーカー名	〇〇〇〇株式会社	型式番号等	〇〇〇-〇〇〇〇
1	排煙機系統 (機器番号等)	排煙機銘板表示		排煙機の規定風量	
	〇〇〇〇〇-〇〇〇	一般系統 (SMF-2)		最大防煙区画面積	270㎡× 1 or ② = 540㎡/min

2	排 煙 口						判 定
	階	室 名	排煙口面積 (㎡)	測定風速 (m/s) *注2	測定風量 (㎡/min)	規定風量 (㎡/min)	
1	A室	0.20	10.22	122.64	100	指摘なし・要是正	
1	B室	0.50	10.42	312.60	270	指摘なし・要是正	
1	C室	0.24	7.85	113.04	120	指摘なし・要是正	
1	D室	0.20	10.25	123.00	100	指摘なし・要是正	
						指摘なし・要是正	
						指摘なし・要是正	
						指摘なし・要是正	
						指摘なし・要是正	

3	排 煙 機					判 定
	排 煙 機 (番号等)	煙排出口面積 (㎡)	測定風速 (m/s) *注2	測定風量 (㎡/min)	規定風量 (㎡/min)	
	〇〇〇〇	0.9	10.74	580	540	指摘なし・要是正

4	直結エンジン (内燃エンジン) の有無	予備電源又は直結エンジン切り替え
	有 ・ ③	指摘なし・要是正



注1) 本記録表は、排煙機系統ごとに記入する。  
 注2) 「測定風速」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。  
 注3) 自主点検等による排煙風量測定記録がある場合は、実施時期、測定方法、測定値等が適正であるか否かを判定すること。

別表 3 - 2 排煙風量測定記録表 (A 4) 給気式 (特殊な構造の排煙設備)

測定年月日		測定機器 メーカー名		型式番号等	
1	給気送風機系統 (機器番号等)		給気送風機銘板表示		給気送風機の性能 (風量)
					m <sup>3</sup> /min

2	排 煙 口					判 定
	階	室 名	排煙口面積 (m <sup>2</sup> )	測定風速 (m/s) *注1	測定風量 (m <sup>3</sup> /min)	
						指摘なし・要是正
						指摘なし・要是正
						指摘なし・要是正
						指摘なし・要是正
						指摘なし・要是正
						指摘なし・要是正
						指摘なし・要是正

3	給 気 送 風 機				判 定
	吸込口面積 (m <sup>2</sup> )	測定風速 (m/s) *注1	測定風量 (m <sup>3</sup> /min)	規定風量 (m <sup>3</sup> /min)	
					指摘なし・要是正

4	直結エンジン (内燃エンジン) の有無	予備電源又は直結エンジン切り替え
	有 ・ 無	指摘なし・要是正

5	排煙系統図 (給気送風機と排煙口の対応関係がわかる図を記入すること)

注1) 「測定風速」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。  
 注2) 自主点検等による排煙風量測定記録がある場合は、実施時期、測定方法、測定値等が適正であるか否かを判定すること。

別表 3 - 3 排煙風量測定記録表 (A 4) 加圧式 (加圧防排煙設備)

測定年月日		測定機器 メーカー名		型式番号等	
1	給気送風機系統 (機器番号等)	給気送風機銘板表示	給気送風機の性能 (風量)		
			m <sup>3</sup> /min		

2	遮煙開口部・空気逃し口							判 定
	階	室 名	空気逃し口の方式*注1	測定排出風速(m/s)*注2	規定排出風速(m/s)*注3	算定式*注3	遮煙開口部の高さ(m)	
			1. 自然方式 <input type="checkbox"/> 2. 機械方式 <input type="checkbox"/> 3. 併用方式 <input type="checkbox"/>					指摘なし・要是正
			1. 自然方式 <input type="checkbox"/> 2. 機械方式 <input type="checkbox"/> 3. 併用方式 <input type="checkbox"/>					指摘なし・要是正
			1. 自然方式 <input type="checkbox"/> 2. 機械方式 <input type="checkbox"/> 3. 併用方式 <input type="checkbox"/>					指摘なし・要是正
			1. 自然方式 <input type="checkbox"/> 2. 機械方式 <input type="checkbox"/> 3. 併用方式 <input type="checkbox"/>					指摘なし・要是正
			1. 自然方式 <input type="checkbox"/> 2. 機械方式 <input type="checkbox"/> 3. 併用方式 <input type="checkbox"/>					指摘なし・要是正

3	直結エンジン (内燃エンジン) の有無	予備電源又は直結エンジン 切り替え
	有 ・ 無	指摘なし・要是正

4	排煙系統図 (給気送風機と空気逃し口の対応関係がわかる図を記入すること)

注1) 「空気逃し口の方式」欄には、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れる。  
 注2) 「測定排出風速」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。  
 注3) 隣接室を区画する当該区画の仕様及び隣接室の仕様に応じて、規定排出風速Vの算定式を以下の①から③のいずれかを選択し、「算定式」欄に記入する。  
 また、当該算定式により排出風速を算出し、「規定排出風速」欄に記入する。  
 この場合において、Vは排出風速、Hは遮煙開口部の高さを表す。  
 ①  $V=2.7\sqrt{H}$       ②  $V=3.3\sqrt{H}$       ③  $V=3.8\sqrt{H}$   
 注4) 自主点検等による風速測定記録がある場合は、実施時期、測定方法、測定値等が適正であるか否かを判定すること。



別表4 非常用の照明装置の照度測定表 (A4)

測定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	測定機器 メーカー名	〇〇〇〇株式会社	型式番号等	〇〇〇-〇〇〇〇
光源の種類	最低照度の測定場所			最低照度 (lx)	判定
	階	部屋・廊下等			
白熱灯	1	飲食店		0	指摘なし・ <b>要是正</b>
蛍光灯	4	事務所		8	<b>指摘なし</b> ・要是正
LEDランプ					指摘なし・要是正
その他 ( )					指摘なし・要是正

(別紙)

階別	測定場所	測定位置 *注1	光源の種類 *注2	照度 (lx)
1	飲食店	避難口	白熱灯	0
1	ホール・受付	出入口付近	白熱灯	6
2	会議室	避難口	白熱灯	4
3	事務所	出入口付近	白熱灯	7
4	事務所	出入口付近	蛍光灯	8
5	屋内階段	踊場	蛍光灯	9

注 1) 「測定位置」欄には、「出入口付近」、「右壁中央付近」のように明記する。  
 注 2) 「光源の種類」欄には、白熱灯、蛍光灯、その他の別及び電池内蔵のものにあっては、(内)と付す。

併せて、指摘のあった箇所や写真撮影位置を別添1様式(No.16)の配置図及び各階平面図に明記してください。

部位	番号	検査項目	検査結果
	別記第一号 1 (9)	換気設備が設けられた居室の 機械換気設備の各居室の換気量	<input checked="" type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> その他
<div style="border: 2px solid red; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <span style="font-size: 2em; color: red;">写 写真貼付 真</span> </div>		特記事項	
		<p>・ 5階事務室に設置された機械換気設備の換気量が不足している。</p>	
		<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>「既存不適格」及び「指摘なし」の項目についても、特記すべき事項があれば、必要に応じて作成してください。</p> </div>	
		写真1	

部位	番号	検査項目	検査結果
	別記第一号 2 (13)	換気設備を設けるべき調理室等の 機械換気設備の換気量	<input checked="" type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> その他
<div style="border: 2px solid red; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <span style="font-size: 2em; color: red;">写 写真貼付 真</span> </div>		特記事項	
		<p>・ 3階給湯室に設置された機械換気設備の換気量が不足している。</p>	
		写真2	

(注意)

- ① この書類は、検査の結果「要是正」かつ「既存不適格」ではない項目等について作成してください。また、「既存不適格」及び「指摘なし」の項目等についても、特記すべき事項があれば、必要に応じて作成してください。「要是正」の項目等がない場合は、この書類は省略しても構いません。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「部位」欄の「番号」、「検査項目」は、それぞれ別記第一号様式から第三号様式の番号、検査項目に対応したものを記入してください。
- ④ 「検査結果」欄は、検査の結果、要是正の指摘があった場合は「要是正」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、それ以外の場合で特記すべき事項がある場合は「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑤ 写真は、当該部位の外観の状況が確認できるように撮影したものを添付してください。

建築物名称 ○○○○○○ビル

建築基準法施行規則第6条第1項の規定に基づき国土交通大臣が定める検査項目について、3年以内に1回全数検査を行なう場合。または、3年以内に分割して全数検査を行なう計画をしている場合は、この様式を報告書に添付してください。

コード番号

○○○ - ○○ - ○○○○○○ - 1

### 建築基準法施行規則第6条第1項の規定に基づき国土交通大臣が定める検査項目の検査計画書

検査項目				検査計画			
				全箇所数	令和 1 年度 実施 検査数量・階/室名	令和 2 年度 実施(済み・予定) 検査数量・階/室名	令和 3 年度 実施(済み・予定) 検査数量・階/室名
別記第一号 換気設備	(九)	機械換気設備(中央管理方式の空気調和設備を含む)の性能	各居室の換気量	18箇所	6箇所 2階○○室、○○室	6箇所 3階○○室、○○室	6箇所 1階○○室、○○室
	(十)		中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況				
	(十六)	空気調和設備の性能 (中央管理方式)	各居室の温度				
	(十七)		各居室の相対湿度				
	(十八)		各居室の浮遊粉じん量				
	(十九)		各居室の一酸化炭素含有率				
	(二十)		各居室の二酸化炭素含有率				
	(二十一)		各居室の気流				
別記第二号 排煙設備	(十八)	機械排煙設備の排煙口の性能	排煙口の排煙風量				
	(十九)		中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況				
	(三十七)	特殊な構造の排煙設備の排煙口の性能	排煙口の排煙風量				
	(三十八)		中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況				

※記入欄が不足する場合は、枠を拡大して記入してください。  
この様式を使わず、平面図等を用いて点検計画を作成しても構いません。